

ふれあい

第73号
特集号
2019.3

公益社団法人 北広島市シルバー人材センター

〒061-1113 北広島市共栄町3丁目12番地1
TEL 011-373-6763 FAX 011-373-1252



理事長 年頭所感

会員の皆さんには、平成最後の新春をご家族おそろいで健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

今日、大変な少子高齢化、人口減少社会の中で、地域に活力を維持し更なる成長を実現していくためには、働く意欲のある高齢者が年齢にかかわらず、その能力や経験を活かし、『生涯現役』での活躍が必要不可欠であります。

こうした現状から、シルバー人材センター事業の果たすべき役割は、これまで以上に重要となってきたおり、地域の要請に応じた柔軟で多様な事業運営を積極的に展開していく必要があると考えています。しかし、こうした役割の重要性や強い期待がある中で、定年制の延長や退職後の再雇用など、社会的要因もあり会員数は伸び悩みであります。全シ協の100万人計画に呼応すべく、当センターもいろいろな施策取り組みを行い、会員・就業拡大に努めます。

今年は「亥年」、今や「人生100年時代」ではありますが、我々の年代は「猪突猛進」は極力避け、『マイペースで素晴らしい1年』『シニア時代が輝く1年』に致しましょう。



「乾杯！未来に輝くシルバーをめざして～新年交流会」開催される！

去る1月18日、北広島駅前プラザ入舟において恒例の『新年交流会』が開催されました。当日は来賓と会員88名が参加し、下村理事長の挨拶のあと、上野市長・佐藤議長から祝辞を頂戴し、川島社協会長の乾杯で祝宴に入りました。宴会では「ほっとバンド」のステキな演奏をトップバッターに、正解者に豪華景品が当たる今年初の「シルバークイズ大会」や恒例のお楽しみ抽選会、カラオケ名人の歌唱披露とつづき、大盛り上がりで進みました。締めは、小岩道議の万歳三唱で2時間を超す和やかな会のお開きとなりました。



地区懇談会

★★あなたからの一言がシルバーの活力に!★★



第9地区

問 第1地区 シルバー事業のPR発信の一環としてホーム

主な質疑内容は次のとおり

本年度の地区懇談会は、1月29日から2月19日まで9地区で開催され、132名が参加（参加率26・0％）。地域班長の進行により、理事長の挨拶、出席者の自己紹介に続き、事務局から「12月末事業実績」「講習会・行事実施状況」「事故報告」「配分金の見直しと就業相談」「当センターの会員拡大計画」などについて報告があり、続いて質疑と意見交換、懇談を行いました。会員の皆さんから頂いた意見・要望を参考にセンター事業の発展に向けて推進してまいります。

参加状況

地区	現会員(人)	参加会員(人)
第1地区	61	13
第2地区	39	16
第3地区	66	17
第4地区	56	20
第5地区	61	13
第6地区	87	20
第7地区	85	15
第8地区	34	13
第9地区	19	5
合計	508	132

ページの内容充実や会員専用のサイトを新設して就業情報などを発信してはどうか。

答 会員のパソコンやスマートフォンの実態を情報収集し対応を検討したい。

問 第2地区 会員の退会原因について分析しているのか。

答 退会理由は、病気・その他就職・介護等の家庭の事情などが多い傾向にあるが、退会抑止策についても会員拡大計画の中でさまざまな取り組みを検討している。

問 第3地区 会員拡大について、就業先の確保についてはどう考えるか。

答 就業分野の拡大も会員継続の重要な取り組みと考える。今後、積極的な就業開拓活動を進める。

問 第8地区 会員数が減少しているが、定年後の雇用延長などが影響しているのか。

問 第4地区 会員拡大の方法として、例えば地区の町内会の行事などに参加してシルバーをPRしてはどうか。

答 拡大計画の取り組みの中で「出前・出張説明会」の開催なども検討中である。

問 第5地区 会員の年会費2500円は何に使われているのか。

答 安心して働けるよう会員全員を対象としてシルバー保険（団体傷害・賠償責任保険）に加入しており会費の大部分はその保険料である。

問 第6地区 毎年10月に行う会員の個別パンフレット配布時期を4、5月に変えた方が効果が高いのでは。

答 これまでは普及啓発促進月間に合わせ実施しているが、時期については今後検討していく。

問 第7地区 就業会員のワークシェア期間はどうなっているのか。

答 公共関係の指定職種は3年周期の交替が原則である。期間満了者には事前に通知する。満了した者は1年経過後は再度同職種を希望できる。



理事長挨拶

答 60歳から65歳までの年齢層は、現在ほとんど入会しない傾向であり、影響が出ていると考える。

問 第9地区 会員拡大計画に示されている女性会員の確保の意図は何か。

答 今後、介護事業や育児支援、学童保育の補助などへの参入が予測される。このような職種は主に女性会員の就業が向いていると思われることから増員を図りたい。

その他、参加者から貴重な意見やさまざまな要望がありました。

大曲ふれあいプラザ「企業展」 スペシャルイベント開催される



最低賃金法の改定により、北海道の最低賃金が、平成30年10月から835円に引き上げられました。シルバー人材センターの配分金は、この法律に縛られることはありませんが、社会的にこの金額相当とする必要があることから、平成30年12月21日の第4回理事会で協議し、現行の最低配分金815円を約3%アップし840円に改定するとともに、その他の配分金についても全体的に約3%の底上げを行い、平成31年4月1日から実施します。

平成31年度

配分金見積基準額の改定について

毎年、恒例の「企業展」が、今年も2／5～19日までの2週間にわたり大曲ふれあいプラザで開催されました。今回初の企画で2／12に一日限りのご来場感謝イベントとして「ギター弾き語りとそば打ちのジョイントライブ」を行いました。ギタリストに当シルバーほっとバンドの田村幸雄会員と素人そば打ち最高段位五段を取得したわが事務局の平松業務課長をお招きし、昭和の名曲約15曲の熱唱とそば打ち名人による実演披露で会場は拍手に包まれました。またサプライズとして打ち立てそばの試食タイムでは、40名以上のお客様が舌鼓を打ち「曲の調べと味」を楽しんでいました。初の試みは大成功に終わりました。



平成30年度 親睦会行事（楽しかった一泊旅行）

今年度の一泊旅行は、倶知安／ニセコ方面へ10月23～24日参加者51名の大人で出かけました。1日目は中山峠を経由して「道の駅真狩フラワーセンター」で小休止した後、今夜の宿泊先の昆布温泉「幽泉閣」で一旦昼食。午後は「高橋牧場ミルク工房」で美味しい牛乳やヨーグルトを口にしながら羊蹄山を望む抜群のロケーションを楽しんだ後、倶知安町の「コアレックス道楽」工場を見学。再び宿泊先に戻りゆっくり温泉につかった後、夜のお楽しみ親睦交流会は大変な賑わいとなりました。

二日目は朝から雨模様。「道の駅ニセコビュープラザ」で小休止し、国際的に注目され大きく変貌を続けるニセコエリアの街並みを車窓から見学。残念ながらシーズン前で人のにぎわいとニセコ山系の素晴らしい紅葉を見ることはできませんでした。その後、仁木町「きのこ王国」に立ち寄り小樽に向かう。雨も上がり青空となり「ウィングベイ小樽」でランチを取り、高速道路で北広島に無事帰還しました。二日間にわたるステキな思い出づくりができました。



昨年9月の胆振東部地震の影響により延期されていた道シ連が主催するイベントが、昨年引き続き平成31年2月20日に開催されました。イベントには道シ連のほか札幌市・江別市・北広島市・恵庭市・石狩市・伊達市が参加し札幌駅前地下歩行空間（チカホ）において、シルバー人材センターパネル展示・一般高齢者対象の相談コーナー・独自事業成果品の販売などを実施し、広く道民に対し普及啓発を行い盛り上がりしました。来場者数は約2000人となり、当センターからは昨年同様、木工製品のほか、今年は手芸品やワラから作った小ぼうしなどを販売し、販売状況は96点の売り上げ実績となりました。



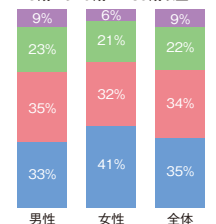
シルバーフェスティバルに参加して

29年度 年齢別会員構成と配分金平均月額

（H29年度とH30年度の比較）（各年1月末現在）

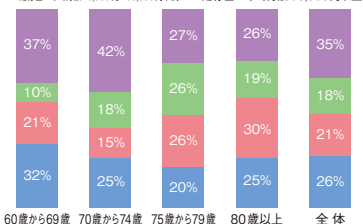
平成29年度年齢別会員構成

■ 60歳から69歳 ■ 70歳から74歳 ■ 75歳から79歳 ■ 80歳以上



平成29年度年齢別配分金平均月額

■ 配分金の平均月額0円～1,000円未満 ■ 配分金の平均月額1,000円～10,000円未満 ■ 配分金の平均月額10,000円～30,000円未満 ■ 配分金の平均月額30,000円以上



第2次会員100万人達成計画と 北広島市シルバー人材センター会員拡大計画について

全シ協は平成30年3月に「生きがいと地域のニーズを結ぶ」シルバー人材センターを目指し平成30～36年度を計画期間とする「第2次会員100万人達成計画」を策定しました。これを受け、当センターにおいても平成30年度から7年間をかけて会員数727人を目標とした「北広島市シルバー人材センター会員拡大計画」を策定します。できあがり次第、会員みなさんにも計画書をお示しする予定ですので、事務局・役員だけでなく全会員が一丸となって会員拡大の目標達成に向けて頑張りましょう！



講習会だより (終了した7講習会の紹介)

今年度も各種講習会が開催され、1月末で延べ 336 人の参加がありました。

今号では、今年後半に実施された講習会のうち、7つの講習の紹介と来年度予定の講習の日程と参加定員を表にして載せました。受講された皆さんの技術や知識の向上を期待しております。

毛筆宛名書き講習会 9/5~10/10

活動センターにおいて毛筆による宛名書き講習会が開催され、会員講師の指導を受けながら実習を行い、家族や友達へ自信をもって書くことができるようになりました。



冬囲い講習会 10/11~12

冬のお庭のアートとなる冬囲い就業会員のすべてが同じレベルの技術を身に付けるために毎年開催しています。今年も新たな就業会員が増えました。



正月飾り講習会 12/13

今年も北広島の赤毛米の稲わらを使い、縄をなうのは少し難しかったようですが、苦勞して作り上げたその出来栄に皆さん大満足の様子でした。(主催:女性委員会)



普通救命・AED講習会 9/14

市の消防隊員による教育と実技指導により救急措置の重要性を学び、心肺停止時におけるAEDの使用法について実技を通し、大変貴重な経験ができました。



園芸講習会 1/16

花の育て方のコツと心を癒すフラワーセラピーについて学びました。色とりどりの生花の甘い香りと参加会員の笑顔が会場に広がりました。



冬道安全運転講習会 1/27

北広島自動車学校で開催しました。構内にアイスバーンや坂道などの冬道の危険を体験する特設コースを設置し、冬道における安全運転知識を再確認しました。



平成31年度講習会 (予定)

この講習は会員の安全就業、技術・技能の習得および後継者の育成が目的です。

* 日程が変更になる場合があります。

講習会名	日 程	定 員	
		会 員	一 般
網戸張り講習会	4月18日	5名	5名
安 全 大 会	4月24日	70名	
安全就業講習会	4月24日	70名	
草刈り機械取扱い講習会	5月22日	20名	5名
剪 定 講 習 会	6月6日~7日	20名	5名
接客接遇講習会	7月23日	50名	
毛筆宛名書き講習会	9月3・5・10 12・17・19日	10名	5名
普通救命・AED講習会	9月13日	30名	
冬 囲 い 講 習 会	10月10日~11日	20名	5名
正月用リース講習会 (女性委員会)	12月13日	25名	5名
木 工 講 習 会	1月23日~24日	10名	
園 芸 講 習 会	1月16日	35名	
冬道安全講習会	1月26日	30名	
包丁研ぎ講習会	2月17日	0名	20名
包丁研ぎ講習会	2月21日	10名	
//	//	0名	10名
機械器具整備講習会	2月26日	20名	
料 理 講 習 会 (女性委員会)	3月11日	20名	5名
家事援助講習会	未定		

木工講習会 1/24~25

木工班の会員が講師となり懇切丁寧な指導を受けながら今年は3種類のイスの製作に挑戦しました。物づくりの楽しさ、難しさを実感できた講習会でした。



2019 第19回 シルバー

ふれあい祭り

日 時 5月15日(水)~17日(金)

午前10時~午後5時(最終日午後4時)

会 場 エルフィンパーク交流広場

交流広場にふれあいの輪を広げましょう!

「安全委員会&女性委員会視察研修」

一年おきに実施されている安全委員会と女性委員会合同による視察研修を理事長以下 17 名の参加により、昨年 10 月 30 日に実施してきました。今年度は岩見沢市シルバー人材センターにお邪魔し傷害や物損事故の発生状況、安全パトロールや安全就業講習の実施状況について、また女性委員会では女性会員の増強と就業拡大のための具体的な施策などについて職員や女性会員と活発な意見交換ができました。また会議後、昼食を挟んで指定管理を受けている本格的な茶室のある日本庭園「玉泉館跡地公園」を視察し、公園管理に就業している会員から丁寧な説明を受け、とても有意義な研修となりました。

